

石村修・稲正樹・植野妙実子・永山茂樹（編著）
『世界と日本のCOVID-19対応—立憲主義の視点から
考える—』（敬文堂、2023年7月）
が刊行されました。

A 5判 392ページ ISBN: 978-4-7670-0255-2
定価：4,400円（本体4,000円＋税）

直接ご購入いただける場合には以下のようにお願いします。

書籍代4,400円×8掛＝3,520円＋送料360円（ゆうメール）合計
3,880円を直接、発行元の敬文堂にお振り込みください。

振込先：りそな銀行 早稲田支店 普通 No. 0961757
（株）敬文堂

※ご送金前に、必ずメールかFAX、お電話でお申し込みくださ
い。お申し込みの際には、書名、送り先、お電話等を明記、お知ら
せください。

※入金確認後、ご指定の住所に発送します。

※ご不明な点があればお問い合わせください。

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町538 リンクス早稲田
ビル（旧平成ビル）1F（株）敬文堂

メールアドレス：info@keibundo.com

Tel 03-3203-6161 Fax 03-3204-0161



アジアや欧米を対象として、法の支配・立憲主義・
人権保障の観点からCOVID-19対処法制と政策の問
題点を解明。国家緊急権でなく立憲主義的に対応で
きることを、日本政府の対応の誤りを考え、今後の事
例への処方箋を提示しました。

主要目次

第1部 ヨーロッパ諸国

- | | | |
|-----|--------------------------------------|--------|
| 第1章 | イギリス憲法における国家緊急権とロックダウン | 成澤孝人 |
| 第2章 | ドイツにおけるCOVID-19 | 石村 修 |
| 第3章 | フランスのコロナ対策と憲法院による統制 | 植野 妙実子 |
| 第4章 | COVID-19対策とイタリア憲法 | 高橋利安 |
| 第5章 | スペインにおけるCOVID-19対処法制——とくに緊急法制に着目して—— | 永山茂樹 |
| 第6章 | ポーランドにおけるCOVID-19と法 | 小森田秋夫 |
| 第7章 | COVID-19とロシアの「緊急事態」法制 | 竹森正孝 |

第2部 北米諸国・国際的な取り組み

- | | | |
|------|--|-------|
| 第8章 | アメリカ合衆国におけるCOVID-19対策と緊急事態法制 | 長岡 徹 |
| 第9章 | カナダにおける新型コロナウイルス感染症対策と非常事態法制 | 佐藤信行 |
| 第10章 | COVID-19禍のヨーロッパ諸国のトリアージ・ガイドラインにみる患者の権利 | 建石真公子 |

第3部 アジア諸国

- | | | |
|------|---|------|
| 第11章 | アジア諸国のCOVID-19対処法制——法の支配・立憲主義の観点から—— | 稲 正樹 |
| 第12章 | 中国におけるCOVID-19への「法的」対応——「武漢封城」を事例として—— | 石塚 迅 |
| 第13章 | 韓国のCOVID-19対策法制とその実態 | 李 京柱 |
| 第14章 | 台湾におけるCOVID-19感染症対策法制とその実態 | 蔡 秀卿 |
| 第15章 | タイにおける新型コロナウイルス感染症対策と緊急事態法制——
緊急事態行政運営緊急勅令を中心に—— | 今泉慎也 |
| 第16章 | インドにおけるCOVID-19と法 | 浅野宜之 |

第4部 日本

- | | | |
|------|--|-------|
| 第17章 | 日本におけるコロナ対策法制と立憲主義——序論／総論的考察—— | 根森 健 |
| 第18章 | 日本における感染症対策の歴史 | 藤野美都子 |
| 第19章 | 「健康権」への再注目——新型コロナウイルス感染症拡大を契機に—— | 澤野義一 |
| 第20章 | コロナ禍と教育 | 丹羽 徹 |
| 第21章 | ジェンダー視点から考えるCOVID-19対策——ステイホーム推奨と戦場化する家族—— | 清末愛砂 |
| 第22章 | 国会議員の任期延長の憲法改正論 | 飯島滋明 |
| 第23章 | 日本国憲法とパンデミック対策における科学的知見 | 秋山 肇 |
| 第24章 | 離島と感染症 | 榎澤幸広 |
| 第25章 | COVID-19と米軍基地——沖縄で考える—— | 小林 武 |

COVID-19への対処をめぐる主要事項年表